

第15回カンファレンス in さっぽろ ～つなげる。そして、つたえる。～

日 時 令和7年10月30日(木) 14:00～20:00
場 所 北海道自治労会館 5階 大ホール
参 加 者 全国青年部会員約170名(うち愛産協青年部2名)
主 催 全国産業資源循環連合会青年部協議会

全国産業資源循環連合会青年部協議会は、10月30日(木)、北海道札幌市の北海道自治労会館にて「第15回カンファレンス in さっぽろ」を開催しました。昨年度の「第14回カンファレンス in えひめ」で各都道府県青年部会が掲げた“夢(目標)”の進捗を検証し、次年度に向けた課題と方向性を共有することを目的として実施され、全国より約170名が参加し会場は大いに活気づきました。

第1部「Back To Ehime ～つなげる～」

「Back To Ehime ～つなげる～」は、各青年部会長および次期部会長予定者が登壇。昨年宣言した目標に向け、どのような取り組みを行ったのかを発表し、成果および課題を共有しました。実施内容の差異や地域特性による難しさなどが明らかになり、参加者間で熱を帯びた真剣な議論が交わされました。

第2部「For The Next ～そして、つたえる～」

「For The Next ～そして、つたえる～」では、各県青年部が抱える課題についてディスカッション形式で意見を集約しました。全国で共有すべき課題として、会員増強、若手参画、交流不足などが挙げられ、各地域での課題解決に向けた提案も活発に行われました。ひとりでは解決が難しい問題も、他県の取り組み事例や知見を参考にすることで改善の糸口が見いだせることが確認されました。愛産協



ディスカッションの様子



青年部からは2名が参加し、他県青年部との情報交換や意見交換を積極的に行い、「課題共有の場としての重要性を強く感じた」、「多様な地域課題を知ることで新たな視点が得られた」といった声が聞かれました。

さいごに

カンファレンス終了後には札幌東急REIホテルにて懇親会が開催され、都道府県の垣根を越えて交流が深めることができ、参加者同士の距離が縮まり、横のつながりを構築する機会となりました。

主催者の全産連青年部協議会 上村誠紀会長は、「夢を語るだけでなく、検証し、改善し、次年度へつなげることが本カンファレンスの意義になります。」と総括。今後も継続的な情報共有と課題解決に向け、活動を発展させていく方針を確認することができました。



中部ブロック青年部メンバー集合写真